

# 連携協働通信「架け橋」

令和6年3月13日

横浜市教育委員会 学校支援・地域連携課 発行 NO. 36

各学校や地域における地域学校協働活動の推進を目的に、地域と学校の連携・協働に関する情報を発信する連携協働通信「架け橋」を発行しています。当課のWebサイトでもご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/chiiikirenkei/gakkoushien.html>

## 学校における働き方改革の実効性の向上のために

令和5年度に各学校が実施した学校運営協議会の中で、多くの学校が働き方改革をテーマとして熟議を行っていることを把握しています。今後、学校現場で働き方改革を進めていく上で、地域や保護者の方々のご理解・ご協力は必要不可欠だと考えています。

令和6年度も学校教職員の声を発信し理解者を増やしていくためにも、各学校で実施する学校運営協議会の議題として、積極的に、働き方改革を取り扱っていただくようお願いいたします。学校教育目標の具現化、「質の高い学び」と「持続可能な学校」の両立に向けて、地域や保護者の方々と共に進めていきましょう。

○令和5年9月8日

文部科学省初等中等教育局長・総合教育政策局長

「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）」（令和5年8月28日中央教育審議会初等中等教育分科会質の高い教師の確保特別部会）を踏まえた取組の徹底等について（通知）より

2. 学校における働き方改革の実効性の向上等

(1) 地域、保護者、首長部局等との連携協働

① 保護者や地域住民等の理解・協力を得ながら取組を進めていくため、学校は、業務の適正化に向けて、**学校における働き方改革について学校運営協議会等の場で積極的に議題として取り扱うこと。**

文部科学大臣メッセージ ～子供たちのための学校の働き方改革 できることを直ちに、一緒に～

3. 保護者・地域住民の皆様へ

デジタル化の進展など急激に変化する時代の中で、今学校は、子供たちが主体的で創造力豊かに次代を生きる力を育てるため、教育の質の向上に取り組んでいます。教師が教師でなければできない業務に集中してこの課題を達成するため、学校・家庭・地域の連携分担や学校の働き方改革が必要であり、皆様の力がこれまで以上に求められています。更なる連携・協働のためには、国や地方自治体がメッセージを発するとともに、学校が保護者・地域住民の皆様とより積極的にコミュニケーションを図ることが必要です。その際、業務の優先順位を踏まえた思い切った精選・見直しや教師と保護者・地域住民の皆様との役割分担の見直し等の相談についても、ご理解とご支援をいただければ幸いです。

○熟議とは

・学校と地域住民で「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決をめざす対話のことで、活発な議論により、的確に多くの人の意見を反映することができます。

- 1 多くの当事者（保護者、教職員、地域住民等）が集まり、「学校や地域の課題」を共有し、
- 2 そのことについて学習・「熟慮」し、「議論」することにより、
- 3 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
- 4 それぞれの役割に応じた解決策が洗練され、
- 5 それぞれが納得して自分の役割を果たすようになる。

# 令和5年度 第5回 学校・地域コーディネーター養成講座

## 『地域学校協働活動のプロセスを作成！発表、共有』

学校・地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）養成講座の最終回として、2月15日に北部と南部、21日に東部と西部の方々にお集まりいただき、企画発表、方面別交流会を実施しました。

第5回では、第4回にそれぞれのグループで話し合った、「学校から依頼された企画を地域と学校の協働により、子どもたちのために実現するまでのプロセス」の発表、共有をしました。また、発表内容について、オブザーバーの皆様より感想や意見、アドバイス等をいただきました。「活動のプロセス」は細かなところまで考えられており、その「押しポイント」にしぼっての発表については、プレゼンカのすばらしさに感心した、とオブザーバーからの感想もありました。



## 研修振り返り（自由記述）

<今後、コーディネーターとして活動するにあたり参考になったこと>

- ・笑顔で考える、楽しんで進める、笑いあう、ということの大切さがよく分かった。
- ・活動にあたっての核となる目標を立てるのが大切だと気付くことができた。
- ・自分にはないアイデアも聞くことができた。なるほど、と思ったことがたくさんあった。
- ・一人では出せないアイデアが出ていて、協力することの大切さに気付くことができた。
- ・各グループで少しずつ視点が違い、それぞれの工夫、着眼点がとても参考になった。
- ・同じテーマでも様々な視点があり、アプローチの方法も異なり、新たな気付きがあった。
- ・押しポイントに絞ることで、何を大事にするかわかりやすくなった。
- ・子どもからの意見を聞くなど、今すぐに取り入れられることがあった。
- ・時系列で進めていく、並行して進めていくことができるようになった。
- ・区内の方々につながる事ができた。他校のことが分かりよかった。
- ・問題点について意見をもらうことができ、参考になった。
- ・プレゼン、説明の仕方を学ぶことができた。



# 『コーディネーター同士の交流を深める！方面別交流会』

後半は、第4回で交流会を企画した受講者グループが方面ごとに交流会を運営しました。それぞれ、グループに分かれて情報交換や意見交換等のトーク、レクリエーションやワーク等を交えながら、充実した交流会を実施することができました。



## 研修振り返り（自由記述）

### <交流会を通して学んだこと>

- ・交流会担当の方が工夫してくれたおかげで、楽しい会になった。
- ・自分の悩みを皆さんに考えていただき、たくさんのヒントをいただいた。
- ・他校での課題が共有され、参考になった。先輩方からアドバイスをもらえてよかった。
- ・皆さん、親切な方ばかりで、これからもお話しできる仲間になればいいと思う。
- ・今後も交流を続け、子どもたちにより良い社会教育を提案していけたらと思う。
- ・多くの人と交流できた。これからも相談や共有ができるとよいと思った。
- ・同じ立場にいる方々とのつながりができて頼もしいと感じた。
- ・相談できる場所、窓口があるのは安心できる。



### <一年間を通しての養成講座の感想>

- ・地域、保護者側と学校側の考え方の両方を学べた。つなぎ役としての原点を学べたと思う。
- ・いろいろなことを知る機会、大人になり学ぶ機会を与えていただき、ありがたいことだなと感じた。
- ・はじめは不安だったが、皆さんと知り合うことができ、とても充実した時間を過ごすことができた。
- ・「何をやればいいのか」という漠然とした不安が解消された。
- ・横のつながりが大切であり、つなげることができた研修だった。困ったときに連絡できる方とつながれた。
- ・不安や心配は消えないが、知識と仲間を得ることができた。
- ・皆さんの熱量とコミュニケーションのすごさに圧倒された。やる気のある方が多くいられた。
- ・こんなにたくさん教育に関心のある方がいるのを知り、嬉しく思った。
- ・一人で頑張りすぎてしまうことが多いので、同じ悩みを持つ方が多く、少し安心することができ、勉強になった。
- ・他校の取組について聞くことができ、今後の参考になった。活動例を聞くことができ、イメージしやすくなった。
- ・学校と地域を結び、子どもたちのための活動ができたらと思っている。
- ・次の世代にも上手く伝えて、仲間を増やしていければと考えている。
- ・基本的な能力の向上を目指すよりも、具体的な方法論も欲しかった。
- ・グループワークが多かったのが、心理的にハードだった。
- ・オンライン講座を取り入れていただけると助かる。



◇最後に、全5回の講師を務めていただいた高橋様より今年度の講座のまとめとしてお話をいただきました。

### 「その活動はなんのため？」

学校支援活動：学習指導要領のどの部分に該当するのか？

地域活動：自立した活動になっているか？ ⇒ 学校が負担になる活動でないか？

#### 【ポイント1： 地域学校協働本部の担い手】

地域学校協働本部の3つの要素

##### ①コーディネーター機能

より幅広い地域住民や団体等の参画を得て、学校との連絡調整を行い、  
緩やかなネットワークを形成する。

##### ②多様な活動

従来の地域住民等に加え、NPO、民間企業などにも学校の教育活動に参画していただき、  
地域と学校が目標を共有して双方向の活動を進める。

##### ③継続的な活動（継続・安定）

学校の教職員や地域学校協働本部の構成員がかかわっても、継続的に地域住民が参画し、  
安定して活動を進める。

☆**地域と学校がパートナーとなり、地域全体で子供たちの成長を支え、  
地域を創生する活動を推進する！**

#### 【ポイント2： コーディネーターの活動は社会教育】

まちづくりの視点で活動（社会教育）をするために、学校教育への理解をもった地域との  
調整役が必要となる。

☆**3つのきく力： 聴く力 ・ 訊く力 ・ 効く力**

#### 【ポイント3： つながる：情報収集・情報発信・情報の整理】

情報収集・発信・整理のために… コーディネーター同士の横のつながりは大切。

コーディネーターとして「つながる」ことを楽しもう！

### ウェルビーイング（Well-being）「良い（Well）」と「状態（Being）」

みんなで持続可能なウェルビーイングの状態を目指しましょう！

SDGs ⇒ SWGs（Sustainable Well-being Goals）2030～

◇一年間、どうもありがとうございました。今回、講座を修了された学校・地域コーディネーターの方について、朝会や集会、学校説明会、PTA 総会、自治会町内会、学校だより、PTA だより、ホームページ等を通して、子ども、保護者、地域の皆様、教職員等への周知をぜひお願いいたします。また、学校・地域コーディネーターとのコミュニケーションを密にとることで、ニーズの共有と信頼関係の構築を図りながら、充実した活動につなげていただければと思います。来年度も引き続き、学校・地域コーディネーター養成講座を開講いたします。今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。

## 令和6年度 学校・地域コーディネーターの配置について

学校運営協議会と同様に、地域と学校を繋ぎ、総合調整を行う「学校・地域コーディネーター」の配置については、学校運営協議会と地域学校協働活動との一体的な推進を進めるうえで重要な部分になると考えています。

今年度も114校の学校から169名の受講者が「学校・地域コーディネーター養成講座」を受講しています。うち14校は初めて学校・地域コーディネーターの推薦を行った新規校でした。

現在、横浜市では461校に学校・地域コーディネーターが配置されています。

「学校・地域コーディネーター」は学校長の推薦が必要です。その推薦を受けた方については、年間5回の「学校・地域コーディネーター養成講座」を受講していただいています。来年度の推薦に向けて新しく学校・地域コーディネーターの配置を考えている場合は推薦の準備を進めていただけるとありがたいです。

また、複数人配置することで活動が活発になることも考えられますので、お仲間を増やすこともご検討ください。一度に複数名の推薦も可能であり、複数名での養成講座への出席も可能です。推薦は、令和6年3月中旬より開始予定です。推薦をもって6月より開始される学校・地域コーディネーター養成講座が受講可能となります。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、学校・地域コーディネーターは複数校の兼任も可能です。兼任する場合は、兼任届の提出が必要となります。提出書類等の詳細は令和6年2月14日付教学第2565号「学校・地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）の複数校兼任について」をご確認ください。提出期限は令和6年5月17日（金）になります。すでに他の学校で養成講座を受講し、学校・地域コーディネーターとして活動している方については、兼任にあたって養成講座を改めて受講いただく必要はありません。

# 次年度の研修のお知らせ

## 方面別 学校・地域コーディネーター研修・交流会

学校・地域コーディネーターを対象に、研修及び交流会を方面別に日時を設定して開催します。  
令和5年度は1回の開催でしたが、令和6年度は2回実施する予定です。

### ○日時及び会場（1回目）

|   | 日 時                                            | 会 場   |
|---|------------------------------------------------|-------|
| 1 | 5月22日（水） 午前の部（東部方面） 9:30～<br>午後の部（北部方面） 14:30～ | 花咲研修室 |
| 2 | 5月30日（木） 午前の部（西部方面） 9:30～<br>午後の部（南部方面） 14:30～ | 花咲研修室 |

※講師は横浜市学校・地域コーディネーター連絡会 高橋 由美子氏 を予定しています。

※基本は所属の学校の方面での参加ですが、予定が合わない場合は他の方面での参加も可能です。

### ○日時及び会場（2回目）

|   | 日 時                                             | 会 場   |
|---|-------------------------------------------------|-------|
| 1 | 11月14日（木） 午前の部（北部方面） 9:30～<br>午後の部（東部方面） 14:30～ | 花咲研修室 |
| 2 | 11月20日（水） 午前の部（南部方面） 9:30～<br>午後の部（西部方面） 14:30～ | 花咲研修室 |

※基本は所属の学校の方面での参加ですが、予定が合わない場合は他の方面での参加も可能です。

※内容、講師は未定です。

## 「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」の一体的な推進について

学校運営協議会会長、学校運営協議会委員、学校・地域コーディネーター及び教職員を対象に、標記研修を開催します。

### ○日時及び会場

|   | 日 時            | 会 場   |
|---|----------------|-------|
| 1 | 7月1日（月） 15:00～ | 花咲研修室 |
| 2 | 7月4日（木） 15:00～ | 花咲研修室 |

※講師は現在、調整中です。決まり次第、ご連絡させていただきます

## 学校運営協議会委員及び学校・地域コーディネーター及び教職員合同研修

学校運営協議会委員、学校・地域コーディネーター及び教職員を対象に、標記研修を開催します

### ○日時及び会場

|   | 日 時              | 会 場   |
|---|------------------|-------|
| 1 | 10月22日(火) 15:00～ | 花咲研修室 |
| 2 | 10月29日(火) 15:00～ | 花咲研修室 |

※実践校による事例発表を予定しています。各校の取組を一層推進する際の参考にしていただくと幸いです。

## 何故、社会とつながる学びが必要なのか

教職員を対象に研修を行い、地域と学校の連携・協働について知っていただきたいと考えています。

### ○日時及び会場

|   | 日 時              | 会 場   |
|---|------------------|-------|
| 1 | 12月5日(木) 15:00～  | 花咲研修室 |
| 2 | 12月10日(火) 15:00～ | 花咲研修室 |

※講師は 認定NPO法人こまちぷらす 理事長 森 祐美子氏 を予定しています。

## 「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」の一体的な推進について

教職員を対象に研修を行い、「学校運営協議会」と「地域学校協働活動」の一体での推進について学びを深め、自校の取り組みに活かしていただきたいと考えています。

### ○日時及び会場

|   | 日 時             | 会 場   |
|---|-----------------|-------|
| 1 | 1月23日(木) 15:00～ | 花咲研修室 |
| 2 | 1月27日(月) 15:00～ | 花咲研修室 |

※講師は 文部科学省 CS マイスター 竹原 和泉氏を予定しています。

**何かお困りなことがありましたら、いつでもご相談ください。**  
**学校支援・地域連携課 671-3278**